



おさかな瓦版

No. 75
2017.1

シリーズ：貝 第7回

トリガイ



ふーちゃんのトピックス

オリジナルグッズの通信販売を始めました！

トリガイ

～おいしくて長い足～



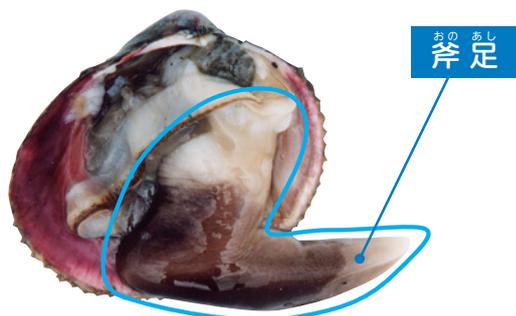
1 トリガイ

トリガイ (1) はアサリやハマグリと同じ二枚貝の仲間です。ほとんどの場合、むき身で売られているので、生きている姿を見たことのある人は少ないと思います。食用となる身の部分は「斧足*」と呼ばれます。鳥のくちばしのような形をしているのでトリガイと名付けられたそうです (1)。ふだんは砂に潜っていますが、敵から逃げたりすみかを

変えたりするときには、大きな斧足を使って、貝とは思えないくらい活発に動きます (2) チェック)。

トリガイは身の全体を食べるアサリやハマグリと違い、斧足だけを刺し身やすしにして食べます。生ではなく、軽く湯通しすることで臭みがなくなり、生で食べるよりも適度な歯ごたえと独特の甘みを味わうことができます。

トリガイは北海道をのぞく日本の沿岸の水深 10 ~ 20メートルのところに生息します。寿命は 1.5 ~ 2年で、大人のこぶしくらいのおおきさに育ちます。底びき網の一種の貝桁網 (2) という漁具で獲ります。おもな漁場は東京湾、三河湾、瀬戸内海、若狭湾西部で



1 トリガイの殻の中

*斧足：「ふそく」という読み方もあります。

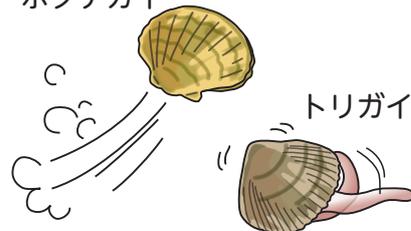


チェック

貝が走る！ 貝が泳ぐ！

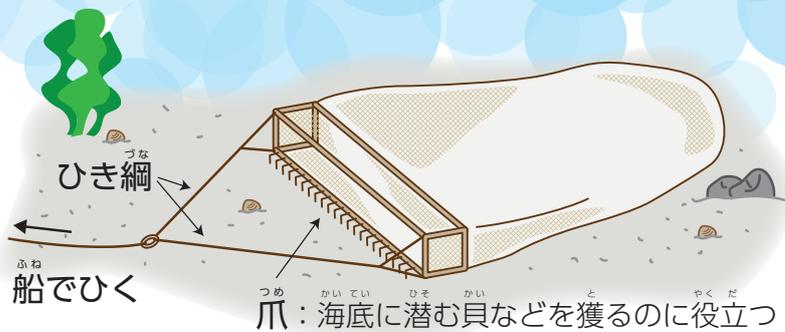
トリガイの足 (斧足) は長く、貝がらのはばと同じくらいの長さです。敵に襲われたときなど、この長い足を力強く動かしてすばやく逃げます。また、ホタテガイは殻を開けたり閉じたりすることで勢いよく水を吹き出して泳ぎます。ハマグリはねばねばした液を出して、それで潮の流れをつかんで海底を走るように、ときには飛ぶように移動します。貝類はじっとしているイメージがありますが、活発に動くものもいるのです。

ホタテガイ



ハマグリ





爪：海底に潜む貝などを獲るのに役立つ

2 貝桁網



3 丹後とり貝(左)と一般のトリガイ(右)

ですが、最近、漁獲量が非常に少なくなっています。

漁場に突然大量発生する年もあれば、急いでいなくなってしまう年もあります。トリガイは成長が早いことで知られます(カメラ2)。生息に適した環境なら生まれて1年足らずで5センチ以上になるので、突然トリガイが出現



カメラ2 左は生まれて2カ月、右は10カ月で、大きさは10センチになりました

したように見えます。環境の変化にはとても弱く、夏に海の温度が高くなったり、大雨で海の塩分が薄くなったりすると、とたんに死んでしまいます。

デリケートで育てるのがたいへん難しい貝ですが、大きくておいしいトリガイを養殖する技術を京都府が開発しました。京都ブランド「丹後とり貝」として販売されています(カメラ3)。最近では、石川県七尾湾でも養殖が始まりました。日本各地にトリガイの養殖が広まり、地域特産として、また日本のおいしい二枚貝として海外に輸出する日が来るかもしれせん。



崎山 一孝



あんじいのワンポイントアドバイス

黒い色がポイント

むき身のトリガイの表面は黒っぽい色をしており、この色がトリガイの特徴なのじゃが、この色は簡単にはがれてしまうのじゃ。なくなると、ほかの白い貝と見分け

がつかなくなってしまうので、さばくときはこすれて色がとれないよう、ガラスのまな板を使ったり、まな板にラップをしたりと、工夫がいるのじゃ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



貝を開くと長い斧足(→)が丸まって入っています



ラップを敷いたまな板の上でさばけば、黒い部分がはがれません



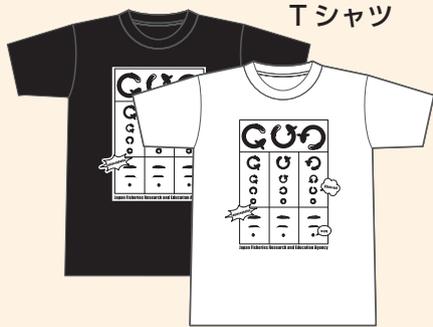
ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

オリジナルグッズの

通信販売を始めました!

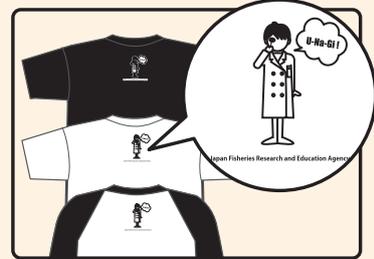
水産研究・教育機構はオリジナルグッズのネット通販を始めました。オリジナルデザインのTシャツやパーカーなどを販売します。



Tシャツ



ラグラン長そでTシャツ



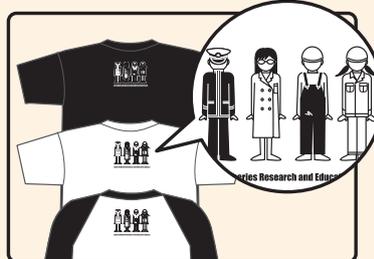
バックプリントがついているよ



Tシャツ



ラグラン長そでTシャツ



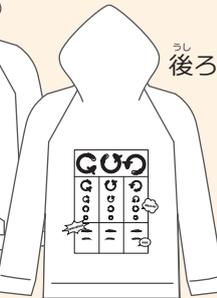
バックプリントがついているよ



ジップパーカー

まえ

前



うしろ

後ろ



まえ

前



うしろ

後ろ

ぜひご利用
ください



詳しくはこちら ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/goods/net/>

これらのグッズは、水産研究・教育機構がデザインの使用を許可し、通信販売サイト（株式会社ClubT）が製作・販売しているものです。製品や販売に関するお問い合わせはClubT（<https://clubt.jp/>）までお願いします。



ふーちゃん



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.75 (2017年1月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。〈聞きたいことの内容〉、〈学年〉、〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



トリガイ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。